

会 議 録

会議の名称	平成30年度第3回行田市市民公益活動推進委員会
開催日時	平成31年1月9日（水）開会14時00分・閉会15時10分
開催場所	行田市役所305会議室
出席者氏名	山口尚美            小池佐栄子            羽鳥優治            金原二郎 串田隆義            石橋和夫            松井秀二郎            今村武蔵 小河原宏之            智田輝史（代理：草水くみ子）            澤田春雄 田尻要            大谷春彦            守裕平            黒澤典弘 岡戸修平（代理：須賀章博）            ※名簿順・敬称略
欠席者氏名	生沢弘幸            駒見行彦            加藤智宏            ※同上
事務局	地域づくり支援課：風間主幹、内沼主査、西尾主任
会議内容	1 委員長挨拶 2 議 事    (1)市民活動やる気応援助成金の審査について (2)市民活動サポートセンター事業について (3)その他
会議資料	(1)資料1 行田市市民活動やる気応援助成金事業提案書（スタート応援事業） 及び説明補助資料（提案者持参） (2)資料2 スタート応援事業審査、評価基準表 (3)資料3 行田市市民活動やる気応援助成金交付要綱 (4)資料4 平成30年度市民活動サポートセンター主催の事業（途中経過） ※その他資料 みずしろフェスタ2018結果概要
その他必要事項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司 会	<p>○ 開 会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会を宣言</li> <li>・会議成立の報告（過半数の委員の出席による）</li> <li>・傍聴人なしの報告 など</li> </ul>
委 員 長	<p>1 委員長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつ</li> </ul>
司 会	<p>2 議 事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・要綱の規定により、会議の議長を委員長が務める旨の説明</li> </ul>
事 務 局	<p>(1)市民活動やる気応援成金の審査について</p> <p>○スタート応援事業（特定非営利活動法人にりん舎）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・審査の方法について説明</li> </ul>
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1及び説明補助資料に基づき提案説明（プレゼンテーション）</li> </ul>
議 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何か質問等あるか。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何故この活動をしようと思われたのか。</li> </ul>
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで障害福祉に携わってきた中で、地域の方から「自分の子が引きこもっていて、どう対処したらよいか分からない」という相談を受けてきた。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しかしながら、障害福祉業務の中では引きこもりの問題に携わることがなかなか難しかったことから、本格的に携わりたいと考え活動を始めるに至った次第である。</li> </ul>
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ということは、今は専業でやられているのか。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料にあるとおり、火曜と木曜に集中して活動していて、それ以外の日は別のところへ勤務している。</li> </ul>
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私個人の意見としては、これはもはや公共的な活動であり、本来は行政の仕事ではないかと思っている。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引きこもりの問題に対して、市ではどの部署が対応していて、そちらとはどのように連携しているのか。</li> </ul>
提 案 者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どこへ声を掛けたらよいか分からない部分があったのだが、引きこもり者の中には発達障害や精神疾患をお持ちの方もいるので</li> </ul>

<p>松井委員</p>	<p>障害福祉を担当する部署が一番近いと思っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのため、当事者交流会を催す際などは、福祉課の担当窓口へチラシを持参して配布をお願いするなどしている。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政においては、ひきこもり者への対応を行う部署は明確になっているのか。</li> </ul>
<p>松井委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象者によって変わってくると思う。</li> <li>・どうも、とても険しい山道を提案者1人で登っていくようなイメージを持ってしまうのだが、公共性の強い分野を市民活動で担おうとしている点については、行政側で担当部署が明確になった場合、まさに協働案件に相応しい業務になるのではないかと強く感じる。</li> <li>・それこそ、にりん舎と行政がスクラムを組んで「行田市におけるひきこもり対策はこのようにやっていきましょう」という方が、やりやすくなる気がする。</li> <li>・ひきこもり対策は、うまく波に乗れば素晴らしい成果が出ると思うので、提案者には是非とも頑張ってください。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かあるか。</li> </ul>
<p>議長</p>	<p>(他の委員からは意見なし)</p>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他に質問等なければ、審査に入りたい。提案者は退室願う。結果については後日、事務局から通知させていただく。</li> </ul> <p>(提案者退室)</p>
<p>議長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スタート応援事業の審査方法について、事務局から説明願う。</li> <li>・資料1-2に基づき説明</li> <li>・黒枠の中にA B C D Eいずれかを記入していただければ、点数の換算や集計は事務局が行う。</li> <li>・ちなみに、全てB以上の評価で点数が16点以上となり、採択となる。</li> <li>・記入が終わったら事務局が回収に伺うので、挙手願いたい。</li> </ul> <p>(回収・集計)</p>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人にりん舎の提案については、委員の平均評価</li> </ul>

議長	<p>点が 20 点満点中 18.4 点となったことを報告する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これにより「採択」という結果となった。</li> <li>・審査結果については、委員長である私から市長へ報告し、正式な採択通知は市長から提案者に対し為されることになる。</li> <li>・以上で審査は全て終了した。続いて議題(2)へと移りたい。</li> </ul>
事務局	<p><b>(2)市民活動サポートセンター事業について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 4 に基づき説明</li> <li>・みずしろフェスタに関しては、実行委員長を務めた松井委員から報告していただく。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(みずしろフェスタ 2018 結果概要を参照しながら) 今回初めて、2 階も利用して開催した。2 階は 1 階と比較して閉じられた感じがあるので、お客さんが入ってきやすい雰囲気になるようスタッフや出展者の皆さんに工夫をお願いしたところ、結構うまくやっていたでき、手応えがあるものとなった。</li> <li>・個人的には 1 階、2 階とも更に賑やかに、熱気溢れる雰囲気で行っていたらとも思うのだが、数字的にはかなり良くなってきている。</li> <li>・それに対して、市民活動サポートセンター（以下「サポセン」と表記）の認知度としては、やはり未だ知らない人が結構多くて、市民の間ではまだまだ浸透し切れていないんだな…というところが反省点である。</li> <li>・ただ、イベント全体として入館者、売り上げ共に伸びたのは良いことだと思うし、サポセン職員も非常に頑張ってくれたので「よいフェスタになったな」というのが率直な感想だ。</li> </ul>
議長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学の軽音楽部も毎年参加させていただいていたが、今回は他のイベントと重なり参加が適わなかった。来年度はそのようなことのないよう、調整させたいと思っている。</li> <li>・資料 4 に関して他に何かあれば伺いたい。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常日頃思っていることなのだが、サポセンには「センター長」に相当する職員がいなくてよいのだろうか。私は、センター長の常</li> </ul>

	<p>駐している姿が理想だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そうでないと、たとえば方針決定の責任者は誰で、認知度が上がらない責任を誰が取るのか、今の状態ではそれらが曖昧でよくない。</li> <li>・何故サポセンを立ち上げたかという原点に立ち返れば、それはやはり、市民活動をしてくれる、行田の町を自分で見つめてくれる人がより多く現れてくれるようになること、それが大きな目的の一つだと思う。</li> <li>・核となる人物がいないと、いつまで経ってもそこへ向かっていかないのではないか。</li> </ul>
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前から申し上げているとおり、コミュニティセンターみずしろ（以下「コミセン」と表記）本来の役割を考えれば、サポセンのセンター長はコミセン所長が担うべきだろう。</li> <li>・現状では、あの所長が何をやっているのか、全く見えてこない。兼務でも何でも、形はどうあれ本来はコミセン所長がサポセンの面倒も見る必要があるはずだ。</li> <li>・元々、コミセンは市民活動を推進する施設として設置されたのだろうが、その辺りを当初から曖昧にしておくから、サポセン職員もやりにくい部分が出てきているのだ。</li> <li>・課長や部長にも伝えるが、その辺りを行政の中でしっかりと整理してもらわないと、サポセン職員はやりにくくて仕方ないだろう。</li> <li>・市民活動をもっと盛んにするのなら、改めてセンター長なりの職を置かない限り、やはり進まないのではないか。本来はコミセン自体がこの業務を担うべきなのだ。</li> </ul>
松井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウルトラCは、サポセンの運営を（コミセンと切り離して）指定管理者に任せることだと思う。</li> </ul>
今村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それくらいやらないと、今のままでは発展しない。運営を指定管理者に任せて、市民の力を結集する方向に行くべきだと思う。</li> <li>・サポセンの果たすべき大きな役割は、新しく市民活動をする人を</li> </ul>

	<p>何とか呼び込むことと、団体と団体を結び付ける、つまり団体間をコーディネートすることだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体はどこも自分の事業に手一杯で、他の団体のことまではなかなか目が行かないものだ。それを結び付けることは有用だ。</li> <li>・その点において、みずしろフェスタの参加団体、入場者ともに増えてきたということは、皆さん方の努力が実ってきたということであり、評価してよい点だと思う。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サポセン開設から3年、長めのスタートアップの時期が過ぎてしまった、という感じもないわけではないが、だいぶ活動も盛んになってきたので、いきなり指定管理という話はともかくとして、兼任でも構わないのでやはりセンター長という職は必要なのかもしれない。</li> </ul>
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そうでないと、話をどこへ持って行ったらよいかも分からないしサポセンから情報を発信する際も、センター長の名義で発出されていることが結構重要だったりするものだ。</li> <li>・その下で活動する我々としても、誰を頼ったらよいか分からないやりにくさ、心許なさのようなものがあるので、行政においては是非とも検討していただきたいところであるが、コミセン所長がセンター長を兼任することはできるのか。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織や人事に関わることなので、なかなか当課だけで決定することは難しい案件である。調整が必要ではあるが、色々と御意見をいただいたので、検討課題として挙げていきたい。</li> <li>・せっかく市民活動も盛り上がってきている。行政の方でも、それをいっそう盛り上げてもらえる仕組みを作っていただければ、我々としても心強い。是非とも宜しく願いしたい。</li> </ul>
<p>今村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり“継続は力なり”で、とにかく続けていくことが大事だ。それによって浸透していく、認知度も高まっていくと思えば、あまり背伸びをせず、分相応の事業を続けていくことが大事なのだろうと思う。</li> </ul>
<p>議長</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やはり盛り上がってくると、我々の発言にも説得力が伴ってきて</li> </ul>

	<p>“発言力”のような力が生まれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「これだけ盛り上がっているのでは何とかお願いしますよ」というパワーにもなってくるので、是非とも委員の皆さんも、自分の団体や本委員会での活動を通じて積極的に動いていただければありがたい。</li> </ul>
<p>議長 松井委員</p>	<p>(3)その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他に何かあるか。</li> <li>・宮代町での催し「ジャパン・オンパク人材育成研修」の案内</li> <li>・ものづくり大学からも是非、学生さんを参加させていただければありがたい。</li> </ul>
<p>議長 事務局 小巻OBS</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学からも参加を考えてみたい。中身の濃いイベントになると思うので、興味のある方は是非とも足を運んでいただきたい。</li> <li>・最後にオブザーバーの小巻氏から感想をいただきたい。</li> <li>・今日は、一歩引いた立場から色々勉強させていただいた。</li> <li>・私の在籍するものづくり大学及び田尻研究室では、幅広いまちづくり活動を行っていて、最近では行田市バスターミナルの緑化活動をはじめ、田んぼアートや浮き城まつりでの意識調査なども行っている。</li> <li>・今回は、皆さんの知恵や力をお借りする立場であったが、今後は「ジャパン・オンパク人材育成研修」など、我々が皆さんに力をお貸しできるような存在であり続けたいと思っているので、今後とも宜しくお願ひしたい。</li> </ul>
<p>議長 司会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた議事は全て終了した。これにて議長の職を解かせていただく。</li> </ul> <p>○ 閉 会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月15日（金）開催予定の「助成金活用成果発表会」の案内後閉会を宣言</li> </ul>